平成17年度生理学研究所研究会

細胞死の新たな生理機能と病態における意義

日時: 平成 17年 10月 17日(月)~10月 18日(火)

場所: 生理学研究所 1階会議室

提案代表者 : 垣塚 彰(京都大学大学院生命科学研究科)

所内対応教員:岡田 泰伸(機能協関部門)

プログラム

10月17日(月)

12:30-12:35 はじめに

(5分) 垣塚 彰(京都大学大学院生命科学研究科)

12:35-13:00 Fas/FADD/FLIPと細胞の増殖・分化

(25分) 米原 伸(京都大学大学院生命科学研究科)

13:00-13:15 M期染色体凝縮の異常によって、eEF1A1/EF-1αの発現低下を介する新しい

(15分) 細胞死が誘導される

小林 洋平(京都大学大学院生命科学研究科博士後期課程)

13:15-13:45 Fas リガンドによるアポトーシスと炎症とがん

(30分) 須田 貴司(金沢大学がん研究所)

13:45-14:15 抗原による B リンパ球アポトーシス制御の機構と免疫応答

(30分) 鍔田 武志(東京医科歯科大学大学院疾患生命科学研究部)

14:15-14:35 休憩

(20分)

14:35-15:00 Akt 経路による新たな細胞死抑制機構

(25分) 後藤 由季子/岩井 謙二(東京大学分子細胞生物学研究所)

15:00-15:30 ショウジョウバエ成虫脳における細胞死と神経傷害に依存的なグリア細胞の(30分) 増殖

加藤健太郎/粟崎 健/伊藤 啓 (東京大学分子細胞生物学研究所、JST・BIRD) 15:30-16:00 変態中に退縮している尾で発現している matrix metalloproteinase-9 遺伝子 (30分) の解析

矢尾板 芳郎(広島大学大学院理学研究科附属両生類研究施設)

16:00-16:30 傷害ミトコンドリアの排除機構

(30分) 柳 茂(東京薬科大学生命科学部)

16:30-16:45 休憩

(15分)

16:45-17:10 ショウジョウバエ食細胞によるアポトーシス細胞の認識機構

(25分) 中西 義信(金沢大学医学系研究科•薬学部兼任)

17:10-17:25 マクロファージによるインフルエンザウイルス感染細胞のアポトーシス依存

(15分) 貪食機構と意義

白土 明子(金沢大学医学系研究科)

17:25-17:55 フォスファチヂルセリン依存の貪食

(30分) 長田 重一(大阪大学生命機能研究科)

17:55-18:30 小胞体ストレス応答の多様性

(35分) 今泉 和則(宮崎大学医学部)

10月18日(火)

9:00-9:30 ドーパミンニューロンの機能発現と病態における Pael 受容体/GPR37 の役割

(30分) 高橋 良輔(京都大学大学院医学研究科)

9:30-9:50 神経変性疾患における VCP の役割の解析

(20分) 垣塚 彰(京都大学大学院生命科学研究科)

9:50-10:10 VCP の活性調節機構の解析

(20分) 野口 昌克(京都大学大学院生命科学研究科博士課程)

10:10-10:40 NF-κB による活性酸素産生の抑制のメカニズム

(30分) 中野 裕康(順天堂大学医学部)

10:40-10:55 休憩

(15分)

10:55-11:20 カスパーゼの生体機能:アポトーシス非依存的な役割

(25分) 三浦 正幸/嘉糠 洋陸/倉永英里奈(東京大学大学院薬学系研究科)

11:20-11:35 雄性外生殖器形成における細胞死シグナルの関与

11:35-12:05 細胞縮小はアポトーシスに必要・十分条件か?

(30分) 岡田 泰伸(生理学研究所機能協関部門)

12:05-12:35 Bc1-2 による種々の細胞死機構の制御

(30分) 辻本 賀英(大阪大学大学院医学系研究科)

12:35-13:30 昼食

(55分)

13:30-13:50 拮抗して細胞の運命を決定するストレス応答キナーゼ JNK、p38- MAPK

(20分) 和田 悌司/仁科 博史(東京医科歯科大学難治疾患研究所)

13:50-14:10 DNA 損傷によって誘導される SAPK/JNK 活性化の分子機構

(20分) 仁科 博史/北川 大樹/浦 誠司/根岸 崇大/和田 悌司/堅田 利明 (東京医科歯科大学難治疾患研究所、東京大学大学院薬学系研究科)

14:10-14:40 ASK ファミリーによる細胞死とストレス応答の制御

(30分) 一條 秀憲(東京大学大学院薬学系研究科)

14:40-14:45 おわりに

(5分) 垣塚 彰(京都大学大学院生命科学研究科)